



二月一五日付本紙で、三宅泰雄会長より、27型カラーテレビとビデオコーダーをご寄贈頂いた事をご報告しましたが、このほど東京都より、その設置許可と、吉村道興氏よりご寄贈頂いたビデオ・テープの放映許可がおりましたので、近日中に設置し、土曜午後一回、日曜・祝祭

待望のビデオ・テープ  
放映開始

日二回程度の上映を行なう予定です。

なお、今回放送予定番組は、「ロンサムレディ号の悲劇」「21世紀平和の構図(座談会)」の三本。

近く実際に操作できる  
放射能測定機を展示

このほど三宅泰雄会長と猿橋勝子評議員のご努力で、放射能測定機を入手しましたので、六月の展示替で一般公開を予定しています。

なお、同機材の取扱いその他につき、猿橋先生始め桜井澄子先生など、気象研究所の方々にご協力頂いた事を深くお礼申し上げます。

▽四月になったというのに、冷たい気流が日本全体を包みこん

で、寒い日が続きました。▽冷たいのは天候だけでなく、かせぐに追いつく貧乏とばかりに諸物価の値上げにつぐ値上げは、庶民のふところをすっかり

冷たくしています。▽とくに困るのは、戦争はかっこいいというような映画や小説が、大手を振って上映され、売りさばかれていることです。これは心ある母親や父親の心をまさに凍らせるものでしょう。▽こんなとき、この都立・第五福竜丸展示館のあることを忘れないで下さい。それは単にピキニ水爆の被災の恐ろしさを伝えるだけでなく、広島・長崎の悲劇とともに戦争そのものを止めようと呼びかけています。▽おまけに入場料は無料です。(H)



通算来館者 15万人突破

3月 月間来館者数 4,140名

月平均来館者数 3,458名

日平均来館者数 136名

通算来館者数 159,050名

福竜丸だより

都立・第五福竜丸展示館ニュース

(財) 第五福竜丸平和協会

〒136 東京都江東区夢の島3-2  
都立・第五福竜丸展示館内  
電話(521)8494

主張

新年度(昭和55年度)の運動方針で  
とくに重点をおきたいところ

新年度の運動方針案の成立  
本年四月一日にはじまり来年三月三十一日に終る昭和55年度の新しい運動方針案が、新年度予算案とともに、一応、成立しました。

従って、これからの行動は、それによることとなりますのでその重要部分について、申述べて、みなさんのご賛同とご支援を期待いたします。

展示館の運営は最重要点

夢の島の都立・第五福竜丸展示館の運営は、本年度も東京都から平和協会に業務委託されたので、その受託業務の誤りない遂行とともに、平和協会としても飽くまで対都協力の立場から、展示館利用者へのサービス活動に全力をつくしたいと考えています。

広報活動のいっそうの強化  
これまで平和協会は、月刊の

「福竜丸だより」を発行してきましたが、その内容の充実と発行部数の倍化を目ざすほか、パンフレット、リーフレットなどの適時の発刊を目ざしたいと思っています。

記念行事などの多彩化

正月の凧あげ大会、三・一ピキニ事件記念集会、九・二三久保山愛吉氏追悼集会、展示館開館四周年記念集会などの恒例の行事をはじめ、平和協会の行う諸行事は、政治的独断はもとより、マンネリ化、公式化を避けて、大衆に奉仕することを重点に独創性を発揮するように努力すべきだと考えています。

国際活動への参加

スエーデンのストックホルム国際核問題調査所(SIPRI)をはじめ、ユネスコ軍縮教育世界会議その他民間の調査、研究機関が存在するので、これら国

際団体との交流をふかめるとともに、情報交換に努めたいと考えています。

さて、私たち平和協会の活動は、まことに無限といふべきですが、最後にひとつだけ強調しておきたいのは次の一項です。調査研究と資料室設置問題  
ピキニ事件については、今日なお解明されていない点が多く、とくに地方における資料などの発掘、保存は緊急の課題であります。また、特定個人の所有品の収集、保管は重大な問題となっております。

ただし、今日、協会として重視しているのは、ピキニ事件を主体としたもの、一九五四年以後の発行の諸文献、資料であって、一般に原水爆資料館などにいわれ、計画されているものに比べると、はるかに特殊性をもったものになるものと、想定されています。また、規模もささやかなものから出発したいと考えていますが、この辺のことはみなさんの真剣な討議を期待しています。

広田重道専務理事入院

広田重道専務理事が、去る三月九日夜、心筋梗塞のため倒れ、現在、渋谷区千駄ヶ谷の代々木病院で入院加療中です。病状は快方に向かっていますが、少なくとも向こう二ヶ月の入院加療が必要との事で、まだ一般に面

会禁止です。

なお、榎田ふき婦団連会長、中林貞男生協連会長、その他、各界からお見舞頂きましたことを、紙上をお借りして、深謝致します。

連載

平和をねがう人々の声 (7)

久保山さんによせられた手紙



二人の女性の手紙
久保山さんへの手紙には、何かしてあげたいけれども、何もしてあげることができません

すと米国の女性 (特に家庭の主婦) は私が書いた水爆実験禁止の訴えに対して全面的に賛成して下さったのです。

アメリカの女性達も日本の女性と何等変りはない、誰もが戦争や戦争のための新兵器などは意味ないといっている事がわかりました。それらの返事を読んだ私は心の静まる思いが致しました。私の拙い手紙が一人一人の外国人に読まれ理解されていた事を感謝致しました。しかしそれ等一般婦人の声とは逆に高い階級にある男性から次の様な手紙も受取ったのです。

突然お便り差上げましてお許し下さいませ。
私は先日米国の問題を米国の一般市民の人々に訴えまして、数百通からなる返事を受けとる事が出来ました。それによりま

私の書いた「水爆被害状況が過大評価されている」「米国民は米国民政府の発表こそ信頼している」「今後とも実験を続けねばならないだろう」「共産主義に對抗するための手段である」等々。一般人と高い階級にある人

では全く考え方が異っているのが残念でした。でもある婦人が「私達米国民は戦争など欲していません。戦争を欲しているのは政治家だけです」と書いてあった事を思い出しました。
残念でならない事は、貴女の御主人始め二十余人の方々の病状については米国民が、殆んど何もいってよい位知らされていなかった事でした。昨日のニュースで米国の新聞に今度初めて久保山さん重態の記事が載せられた事を知りました。当然の事だと思えます。そして今後責任ある国家として米国民は最大限の援助と良心をつくすべきだと思います。

最高の医学であれ、皆様の苦痛をいやす事に充分でない場合でも正しい判断を失わないで下さい。絶望に陥ってはいけません。強く強く生きて下さいませ。
九月三日 富沢 千鶴
富沢千鶴さんは当時、二十四歳でした。十代の時すでに結核におかされ、手術後自宅療養を

レポート

激増する見学団体の傾向

近年、展示館への団体見学が急増していますが、七九年度(七九年四月一日〜八〇年三月三十一日)の見学団体(二〇名以上)数は、一三三件一四八回、一四、四〇九名で、総来館者数四八五二〇名の約三〇%に登っています。

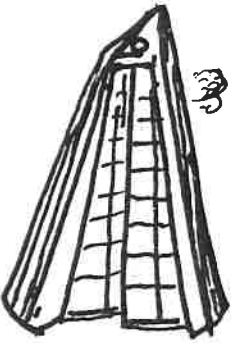
見学団体の内訳は、次の通りです。

- 幼稚園・保育園 九件 七%
小学校 七六件五七%
中学校 九件 七%
高等学校 一件 〇%
一般 三八件二九%

以上のように、見学団体の半数以上を小学生が占めています。これは、小学校の教育指導要綱に社会科見学が強く位置付けられており、この見学コースに展示館が入り始めている事を示しています。その中で、今年度、注目されるのは、埼玉県下

の小学校が数多く見学に来ていゝる事で、新しい傾向の一つです。また、数こそ多くはありませんが、展示館が修学旅行コースに入りつつある事は、特筆に値します。今年度は、こうした学校が三校(宮城県多賀城中学校、京都府江陽中学校、和歌山県上秋津中学校)あり、この傾向は、今後とも増え続けるものと考えられます。

一般団体は、学童保育クラブ、PTA、町内会、教員の研究会、区役所の見学会、労働組合、平和民主団体など様々ですが、PTAの見学が増えて来た事は、今年度の新しい傾向です。



来館者の声から



クロミツ (京都)

世界平和のため、核兵器などなくしてほしい。二度とこんな事はおきてほしくないと思う。
これからの私たちが、もっともっとこの問題にとりくんでいかなければならないと思った。
江東区立第二亀戸中学校
桜井・渡辺・今井

私のいなかには広島なので、原爆のことは、よくおぼあちゃんから話されました。
ここを見てから、なおさらよくわかりました。もう二度とこのようなことのないようにしたい。くるしみのない世界に……
無記名

同じ人類でも、科学の発展によって、争いや戦争をおこすのは、一人一人が自分のこと、国のことだけしか考えないでしょう。
こんなおそろしいことは、二度とくりかえしてほしくない。
平田善子

福竜丸は、とてもかわいそう。この夢の島に、六八年にすてられていたのだから……。記念にここを建てて、とてもうれいす。
久保山さんという人は、放射能をあびて、亡くなってしまったそうですね。
いま、社会科の勉強で、歴史の中で第二次世界大戦を習っています。もうすぐ、広島のことが出て来ます。
筑波大学附属中学 A S A K O

東京に来た時は、できるだけこの船に会いに来るようにしている。今回で三回目。なぜか、すずめがいなくなっている。昼